2023年10月25日
教育研究改善委員会

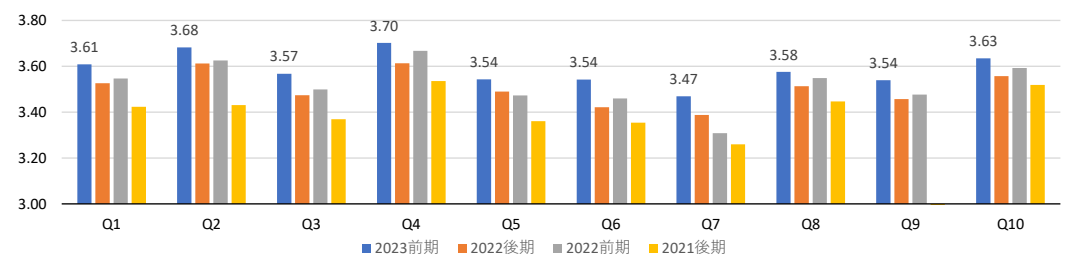
2023年度前期　東京成徳大学授業評価アンケートの集計結果の概要（大学全体、経年比較含む）

1．調査目的　「東京成徳大学学生による授業評価実施規程」第2条による。
2．調査対象　東京成徳大学が開講する授業科目（専任、非常勤教員）のうち同規定第3条に定めるもの
3．実施期間　2023年7月1日（土）～8月4日（金）
4．回収状況

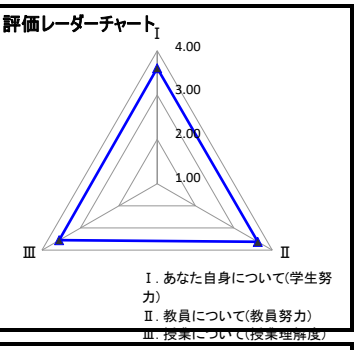
	国際	臨床	健康	子ども	経営	大学院	合計
授業数	48	47	41	81	72	10	299
履修者数	1,246	3,557	1,491	5,841	4,543	96	16,774
回答者数	887	1,939	876	3,836	2,252	75	9,865
回答率	**71.2%**	**54.5%**	**58.8%**	**65.7%**	**49.6%**	**78.1%**	**58.8%**
回答率（2022後期）	39.9%	31.0%	42.4%	33.9%	31.5%	49.2%	34.0%

質問項目	2023前期 全体平均	2022後期 全体平均	2022前期 全体平均	2021後期 全体平均	2023前期 標準偏差	2023前期 Q10相関係数	回答数 4	3	2	1	総数
Ⅰ．あなた自身について（学生努力） 橙色：3.5以上or高値、緑色：3.3未満or低値											
Q1 この授業に対して、あなたはどのように取り組みましたか。	3.61	3.53	3.55	3.42	0.57	0.50	52	266	3162	6359	有効 9839
①熱心に取り組んだ　②ある程度熱心に取り組んだ　③あまり熱心に取り組まなかった　④熱心に取り組まなかった							0.5%	2.7%	32.1%	64.6%	無効 26
Ⅱ．教員について（教員努力）											
Q2 教員は授業の初回でシラバスの内容（授業の目的、到達目標、授業計画、成績評価基準等）を説明しましたか。	3.68	3.61	3.63	3.43	0.54	0.51	56	224	2505	7056	有効 9841
①説明された　②ある程度説明された　③ あまり説明されなかった　④説明されなかった							0.6%	2.3%	25.5%	71.7%	無効 24
Q3 教員の話し方や情報提示、課題提示の仕方は、わかりやすかったですか。	3.57	3.47	3.50	3.37	0.66	0.64	153	487	2818	6372	有効 9830
①わかりやすかった　②ある程度わかりやすかった　③あまりわかりやすくなかった　④わかりやすくなかった							1.6%	5.0%	28.7%	64.8%	無効 35
Q4 教員は、教材（テキスト、スライド、配付資料、動画、その他）を適切に使用して授業を行っていましたか。	3.70	3.61	3.67	3.54	0.56	0.55	94	237	2174	7331	有効 9836
①行われていた　②ある程度行われていた　③ あまり行われていなかった　④行われていなかった							1.0%	2.4%	22.1%	74.5%	無効 29
Q5 教員は、事前・事後学修についての指導を行っていましたか。	3.54	3.49	3.47	3.36	0.68	0.53	143	599	2867	6221	有効 9830
①行われていた　②ある程度行われていた　③ あまり行われていなかった　④行われていなかった							1.5%	6.1%	29.2%	63.3%	無効 35
Ⅲ．授業について（授業理解度）											
Q6 この授業の内容は、わかりやすかったですか。	3.54	3.42	3.46	3.35	0.68	0.68	170	526	2945	6193	有効 9834
①わかりやすかった　②ある程度わかりやすかった　③あまりわかりやすくなかった　④わかりやすくなかった							1.7%	5.3%	29.9%	63.0%	無効 31
Q7 この授業は、知識の伝達だけではなく、学生の授業への能動的な参加を促す形で行われていましたか。	3.47	3.39	3.31	3.26	0.79	0.49	340	791	2622	6082	有効 9835
①行われていた　②ある程度行われていた　③あまり行われていなかった　④行われていなかった							3.5%	8.0%	26.7%	61.8%	無効 30
Q8 この授業を受けて、新たな知識やスキルを習得できましたか。	3.58	3.51	3.55	3.45	0.63	0.75	109	402	3034	6275	有効 9820
①習得できた　②ある程度習得できた　③あまりできなかった　④できなかった							1.1%	4.1%	30.9%	63.9%	無効 45
Q9 この授業は、あなたにとって興味深いものでしたか。	3.54	3.46	3.48	－	0.68	0.76	165	540	2959	6172	有効 9836
①興味深かった　②ある程度興味深かった　③あまり興味深くなかった　④興味深くなかった							1.7%	5.5%	30.1%	62.7%	無効 29
Q10 この授業を受けて、自分のためになりましたか。	3.63	3.56	3.59	3.52	0.61	1.00	124	299	2619	6781	有効 9823
①ためになった　②ある程度ためになった　③あまりためにならなかった　④ためにならなかった							1.3%	3.0%	26.7%	69.0%	無効 42

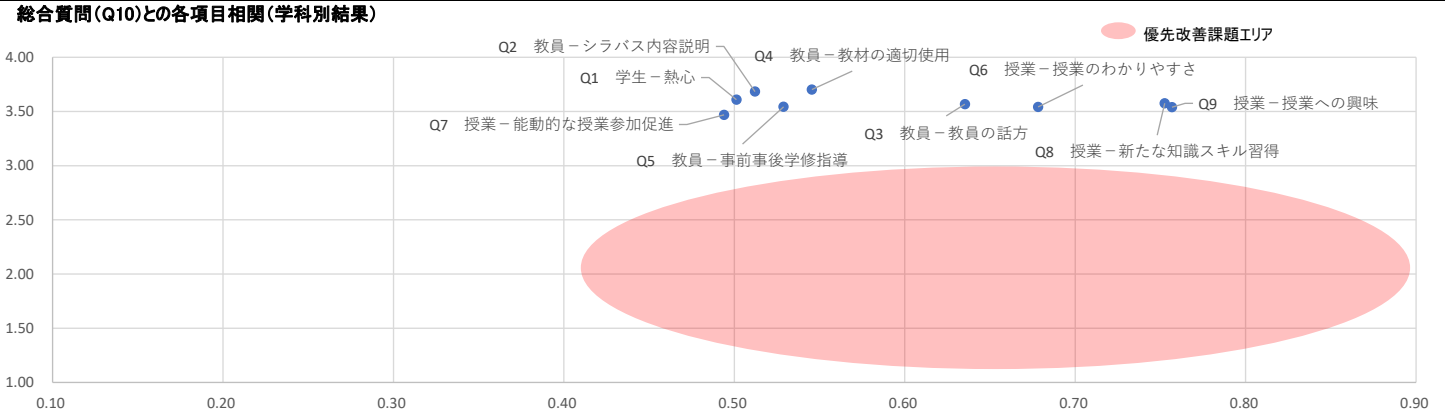
2023年前期～2021年後期の比較



評価レーダーチャート



総合質問（Q10）との各項目相関（学科別結果）



2023年10月25日
教育研究改善委員会

2023年度前期　東京成徳大学授業評価アンケート集計結果の主要Facts（大学全体）

1．総　論

・回答率の上昇（UNIPA効果の可能性）

・全質問項目の評価値が2021年度後期以降で最高値

・総合質問「Q10.自分のためになった」との相関関係

相関関係が高い項目　「Q9. 授業の興味深さ」「Q8. 新たな知識やスキルの習得」「Q6. 授業のわかりやすさ」

相関関係が低い項目　「Q7. 学生の授業への能動的な参加促進」「Q1.（学生の）授業への取組み方」
「Q2.（教員の）シラバスの説明」

表1　「Q10.自分のためになった」との相関関係が高い項目（カッコ内は相関係数）

	第1位	第2位
2023年度前期	Q9.授業が興味深い（0.76）	Q8.新たな知識･スキル（0.75）
2022年度後期	Q8.新たな知識･スキル（0.791）	Q9.授業が興味深い（0.780）
2022年度前期	Q8.新たな知識･スキル（0.762）	Q9.授業が興味深い（0.761）
2021年度後期	Q18.新たな知識･スキル（0.765）	Q19.分野への関心（0.754）

（課題）「Q7.能動的参加の促進」と「Q10.ためになった」との相関関係が低い

2. 「教員努力」について（高い項目1,2位は2022前期と同じ）

・評価値が高い項目　「Q4.教材の適切な使用」（2021年度前期以降同一結果）
「Q2.シラバスの説明」（2021年度前期以降同一結果）

・評価値が低い項目　「Q5.事前･事後学修の指導」（2022後期：「Q3.話し方、情報提示・課題提示のわかりやすさ」）
「Q3.話し方、情報提示・課題提示のわかりやすさ」（2023後期期：「Q5.事前･事後学修の指導」）

（課題）「Q5.事前･事後学修の指導」が例年相対的には低評価

3. 「授業理解度」について（2021年度後期以降同一結果）

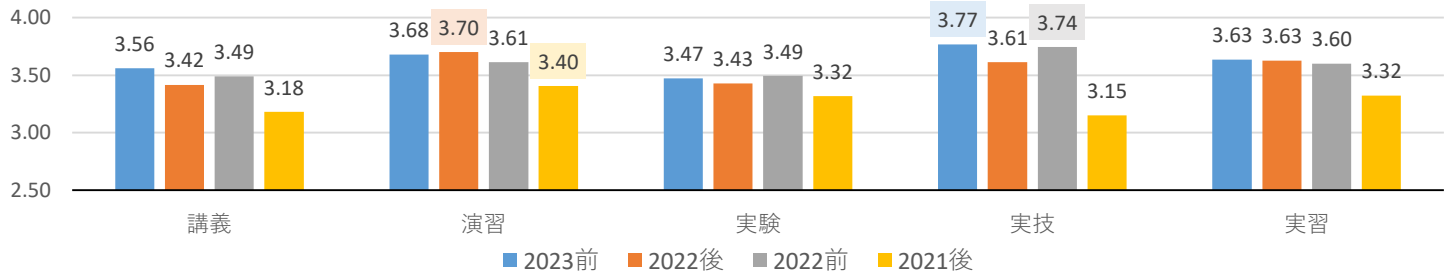
・評価値が高い項目　「Q10.ためになった」
「Q8.新たな知識とスキル」

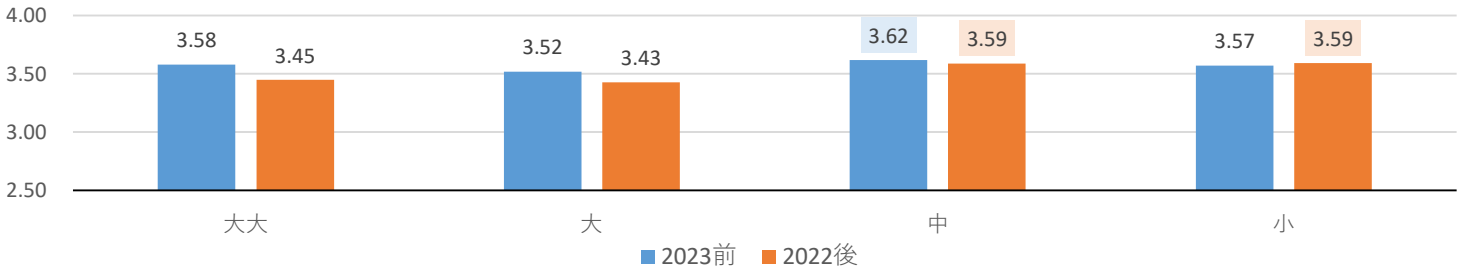
・評価値が低い項目　「Q7.授業への能動的参加の促進」

（課題）「Q7.授業への能動的参加の促進」の改善が必要

4. 授業形態別集計、履修者数別集計

・授業形態別の評価値（平均値、回答者数は、講義：7645人、演習：1996人、実験：67人、実技：134人、実習：23人）



・履修者数別の評価値（平均値、大大人数：91人以上、大人数：61～90人、中人数：31～60人、少人数：16～30人未満）

（回答者数、大大人数：4,768人、大人数：1,392人、中人数：2,459人、少人数：1,246人）